

昔の栄小学校

栄小の誕生



戦後、福岡小学校の児童数が増え、工業高校の校舎を借りたり、「青空教室」として野外で勉強していました。

昭和27年、現在の地に栄小学校として、分離開校しました。

そのころは1学級に50人から55人で、1047人の総児童数でした。

学校の周りは、松林と畑ばかりでした。学校の中でもサツマイモを育てていました。

当時は戦争の爪痕が残り、壊れた戦車や墜落した飛行機の残骸があちこちにありました。

学校は教科書も人数分無く、見せ合っていました。



給食



当時は学校の給食室で給食を作っていました。

いやな思い出は、脱脂粉乳、鼻をつまんで飲んだそうです。時々ココアが入っていて楽しみでした。

給食にクジラがよく出たそうです。

運動会



当時の子どもたちにとって、一番楽しいのは体育の時間でした。

運動会では、家族や地域の人が、弁当を持って見物にきました。



学芸会



家庭科室を使い、畳に座って合唱や劇を鑑賞しました。

修学旅行





関西線に乗り、奈良・京都へ出かけました。煙を吐いて進む汽車で、急な坂を登るためにスイッチバックをしたそうです。

健康を守る



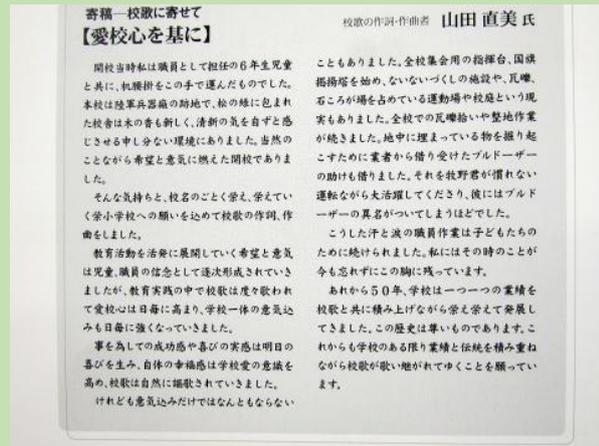
当時の子どもたちはお腹に回虫という寄生虫がわいてしまうことがありました。

子どもたちの健康管理をしていた校医の先生は馬に乗って学校に来ました。

先生が学校にいくと、みんな先生と馬の周りに集まり、触ったり、草を食べさせたりしました。

先生と馬は人気者でした。

校歌を作ってくれた山田先生



校歌を作ってくれたのは、開校当時在職していた山田先生でした。先生は歌を作るのが得意で、校区の

町名を盛り込んだ「栄音頭」も作り、天野先生が振り付けをして、みんなで校庭で踊りました。

授業後の遊び



学校の周辺には戦争で壊れた建物が残っていました。大きな火薬倉庫があり、「危ないから近寄っては
いけない」と言われていました。しかし、大人の目を盗んで、遊んでいました。ところが、その火薬庫で
大きな爆発事故があり、

ものすごい火柱がたちました。

映画鑑賞会では、「鐘の鳴る丘」「二十四の瞳」などの名作を観て、感動しました。